

Cotton Up



こっとなあつぷ Vol. 126

外清掃活動、頑張っています！

天気の良い日には、施設周辺を綺麗にしています☆



外活動も色々…今回の中ページは
浴場清掃と買い物の
2つの Restart！！です。

目次

- | | |
|---|-----------|
| ・ 法人理事から新年度のご挨拶 | <2 ページ> |
| ・ 「T・D・S・N (Tanpopo Daily Support News) 49」 | |
| Restart！！～浴場清掃と買い物の2つの報告～ | <3～5 ページ> |
| ・ 後援会のご案内・2018 年度決算報告 | <6 ページ> |
| ・ 編集後記 (編集部) | <6 ページ> |

【新年度にあたり 法人理事からの皆さまへのご挨拶】

理事の浅羽昭子です。日頃は、横須賀地区自閉症児・者親の会顧問として活動していることが多いです。

新しい元号が決まりました。「令和」予想されていた方当りましたか？5月から令和元年の始まりでもあり、気持ちを新たに今年も前を向いて進みたいと思っております。そこに皆様へのご挨拶をとの原稿依頼があり、今後の事を考えるよい機会を頂いたかなと思います。

皆様には、新任、転勤あり、配置換えありと何かとお忙しい時期が一段落した方と、初めて「こっとなあぷ」をご覧になれる方もおられるかと思しますので、公私取り交ぜてのご挨拶とさせていただきます。

私も、この原稿を書き終えたら、年度末の締めの仕事に取り掛かり、それが終わったら、ライフワークとしている災害時要援護者の支援について、今年は何をしようかなと考えているところです。震災時避難所運営訓練への参加を通して、地域の皆様の障害者支援の広がりを目指しています。

さて、理事としての私にとりまして、「わたげ」は自分の子供のような気持ちでおります。苦勞して産んだ子が、立派に成長し、親は見守るだけ。そんな時もありましたが、現在は理事として運営に参加し、近い将来遠い将来、どちらも見据えながら、法人の活動をしています。最近では、東日本大震災以後、最大の課題であった「ふあず」の移転が果たせ一安心しているところです。また、今後に向けて、新たな取り組みが待っているところです。

振り返ってみますと、「わたげ」設立の折には、多くの皆様のご支援ご協力をいただきました。今も時々思い出しては、感謝の気持ちが湧いてきます。良かった事も、辛かった事も、一つ一つが今の活動の原動力にもなっています。あの時頑張れたのだからもう少し頑張ろう、そんな気持ちも湧いてきます。紙面をお借りして、改めてお礼申し上げます。（注：社会福祉法人横須賀たんぼぼの郷は、親の会会員有志が、力を合わせて作った法人です。）

とは言え、4月で70歳を迎えて、体のあちこちにガタが来ております。そこで、別の法人の理事長としてグループホームを運営しておりましたが、同じく理事をしている他のNPO法人に事業承継し、少し身軽になりました。

「わたげ」設立から23年が経過しましたが、発達障害の方の支援が難しいのは変わっておりません。更に利用者の高齢化、親の高齢化による新たな支援が必要となっております。法人としても何らかの形で対応を迫られていますが、当法人だけでは、利用者の生活全てを支えることはできません。地域のネットワークによる支援が、どうしても欠かせなくなっていると思っています。

日々、利用者の支援にあたっている職員には、次から次へと大変な事と思いますが、保護者の皆さんの感謝の言葉を糧に頑張っていると思っています。一方で今でも十分頑張っているのも、少し息抜き、気分転換してほしいなとも思っています。当法人も将来の展開を見据えた中で、職員採用が思うように進まないのが、課題です。福祉の現場は、次から次へと新しいサービスが生まれ、目まぐるしく変わっている中で、制度はできても担い手が不足している状況です。当法人も常に職員を募集中です。

そして、意思決定支援、コミュニケーション支援という当たり前の、でも難しい課題にも取り組まなければなりません。とくにやっておられる方々に教えられながら、今年度も取り組みます。

未だに、また多分いつまでも、息子の行動が理解できない親の私にとりまして、当法人は、力強い味方です。お世話になりっぱなしの理事ですが、これからも頑張りますので、どうぞ皆様よろしくお願い致します。

Restart！！ ～浴場清掃と買い物の2つの報告～

わたげの利用者は日中を主に施設内にて作業(ケーブル作業や釣り具や箱の仕切りの組立作業など)を行い過ごしています。作業以外には浴場清掃やゴミ処理場へのゴミの搬出、買い物など施設外にて活動も行っています。その中から浴場清掃場所が変わった時の取り組み、買い物での利用者の様子を報告いたします。

その1 浴場清掃～新しい清掃場所での支援～

現在、毎週木曜日に横須賀市上町にあるあたり湯(銭湯)にて浴場清掃を職員1名、利用者2名(飯野さん、佐藤さん)で清掃を行っています。昨年の5月まで他の浴場にて清掃を行っていましたが事情により、あたり湯に移っての清掃となりました。浴場によって洗剤や清掃箇所や清掃方法に若干の違いがあり、職員が実際の作業をやって見せることで清掃方法や清掃箇所をご本人にお伝えしました。新しい場所での活動について先行き不安ではありましたが、変更初日から飯野さ佐藤さんともに清掃手順毎に職員の方を向いて清掃内容を聞こうとする姿勢から、浴場清掃に真面目に取り組もうとしているのだと感じました。清掃場所が変わった事で、清掃方法が変わらない部分は精度良く行えるように、泡を流す際に水を使い過ぎてしまう量を明確にして、本人が分かり易いように支援する必要があるため、この機会に1から伝え直しました。同じ内容でも新しい場所で始める事で、職員の指示をスムーズに受け入れる事ができていました。

あたり湯浴場清掃の様子



飯野さんの床磨きの様子

デッキブラシを短く持つことで
より床を磨く力が入ることを
飯野さんは知っていました。



佐藤さんの窓ガラス磨きの様子

窓ガラスを磨くときに雑巾を
ガラスに押し当てて拭く力加減を
佐藤さんは知っていました。



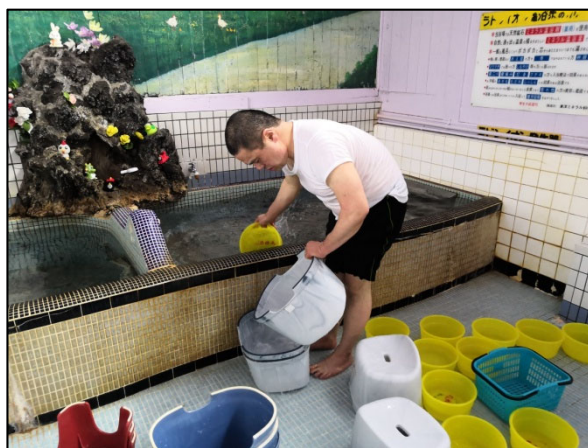
佐藤さんの水道蛇口付近のタイル磨きでは、「上、真ん中、下、端」と職員と本人が共有できる言葉を使いました。歩きながらタイルを磨く際には、早歩きだと磨き残しができてしまうため、磨き始めのゆっくり歩くペースの時から「いいですよ」と言葉掛けし評価をする事で、歩くペースを伝えています。注意されながら作業をするよりも、肯定されながら作業をする方が気持ちいいですし、利用者からは清掃方法が合っているとの目安となります。そのため、常に肯定的な言葉掛けをするよう心掛けて支援を行っています。

飯野さんの水を使い過ぎてしまう行為については、

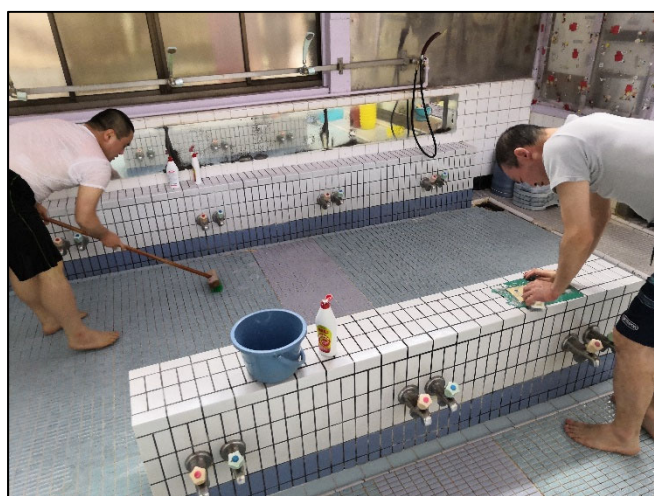
- ①桶を流す回数を決めた。
- ②清掃手順に含まれている泡を水で流す手順以外に不必要に水を床に流す行動はしない。

以上2つのことを手順には入れない事で、必要がない事をお伝えしました。飯野さんは伝達した内容を理解し活動する事ができる方です。更に、お伝えした手順以外にも作業方法を工夫したり、必要性を感じた場合に活動を付け加えたりする力を持っています。

飯野さんにとって今では不必要に水を床に流す行為も、昔は必要だった行為だったのかも知れません。



しかし、各利用者精度が上がり泡を綺麗に流しきる事ができても、その行為のみが残ってしまったのかも知れません。浴場が変わり手順を再度伝え直す事で、その行為が無くなりました。



浴場清掃での配慮する点は
2人の掃除箇所への動線を考え
互いを気にせず掃除が行える
交わらない掃除箇所と時間配分。

これからも浴場清掃
頑張っていきましょう！！

その2 セミセルフレジの支払い体験

對比地さんは給食時にふりかけをご飯にかけて召し上がっており、ふりかけの在庫が無くなり次第、ふりかけを近隣のスーパーで購入しています。ふりかけを買いに行く事について、事前にお伝えする事で、購入するものを理解しスーパーでの商品棚にてふりかけを取り買い物籠に入れる事ができています。しかし、レジでの支払い時にどうすれば良いのか分からないのか止まってしまう事が見られます。對比地さんにとって、レジでの支払い方は分かりづらいのではないかと思います。レジでの支払い方の手順をひとつずつ分解してみると・・・店員がバーコードをスキャンし、「〇〇円になります」と言いますが、「お金を出してください」と具体的に言いません。また、店員によって言うタイミングや言い方も違います。代金を受け皿に置くのか、直接渡すのか指差して教えてはくれません。私たちは日常なんとなくレジで支払いを行います、店員の動きを見て、客側が支払うタイミングを図り状況を見てお金を手渡ししたりお皿に置いたり判断しています。このやり取りはハードルが高いように買い物時に思います。

今回、對比地さんと買い物に行った際に、新たにセミセルフレジを使ってみました。店員が商品をバーコードでスキャンした後、表示された合計金額を客が精算機にお金を投入して精算を行うもの。店員との支払うやり取りが無く、精算機に設置されたお金の投入口、釣り銭やレシートの出口が色分けされており、見た目に非常に分かりやすく、スムーズに支払う事ができました。初めてでしたので、指差してお伝えしましたが、今後はレジでの支払い方法を對比地さんに事前に分かりやすく伝え、回数を繰り返す事で自立して支払う事ができるのではないかと思います。



セミセルフレジでお金を支払う
對比地さんの様子

今氏照樹

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、地域の一員として自分らしく生活していくために、必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1口	3,000円
	団体会員	1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会



《2018 年度 決算報告》					
たんぽぽの郷 後援会					
昨年度、皆様からいただきました会費については、下記のと通りの収支でした のでご報告申し上げます。					
(自2018年4月1日～至2019年3月31日)					
〈収入の部〉			〈支出の部〉		
項目	決算額		項目	決算額	
前期繰越金	708		寄付金(わたげへ)	450,000	
会費	455,870		次期繰越金	6,578	
合計	456,578		合計	456,578	
			以上 会計 常田ちよ子 		
2018年度収支決算書及び関係帳簿・領収書を監査したところ、報告に相違ないこと 証します。					
			会計監査 對比地祐子 		
			高橋正子 		
皆様よりの会費等の決算につきましては上記の如くご報告申し上げます。					

編集後記 ～編集部～

4月が平成最後の月になりました。私は、平成最後の花見を楽しんで参りました。どこも花見祭りを開催しており、人で賑わっていました。また先日には、京都市で昨年の台風の影響で根元から倒れた桜が今年も倒れながらも地面に付いた枝いっぱい花を咲かせた写真を見ました。私も、あの根本から折れながらも、生命力に満ち溢れた桜のように強く、新しい「令和」を迎えたいと思っています(*^_^*) 高橋

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀3-13-21
TEL:046-844-0038/FAX:046-844-0036 E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp